



学校だより

令和8年9月1日
東京都立小平特別支援学校
校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

さあ、2 学期の始まりです！

先日ふと空を見上げると、夏雲の上にきれいなうろこ雲が広がっていました。まだまだ厳しい残暑が続いていますが、季節はゆっくりと秋へと移り変わっています。

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が帰ってきました。夏休みはいかがお過ごしでしたか。家族で旅行に行ったり地域のイベントに参加したり...。楽しい思い出ができた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一方で、熊本の地震や千葉の豪雨など自然災害のニュースも多く聞かれた夏でした。被災された地域の方には、心からお見舞い申し上げます。災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの備えを常に心がけ、子供たちの安全な学校生活を守り、充実した学びができるよう努めてまいります。



夏季休業中の教員研修の紹介

夏季休業中、教員たちは2 学期に向けて、授業づくりや支援の在り方について学びを深めています。今回は、そのような夏季休業中の校内研修の様子を御紹介します。

(1) ICT 活用に関するポスター発表会

「ICT を有効活用した授業づくり」をテーマに、本校と武蔵分教室で、実践についてのポスター発表会を行いました。意見交換や助言を通して、子供たち一人一人の学びを広げる ICT・AT の活用について考えを深めました。

(2) 医療的ケア・摂食指導についての研修会

医療的ケア研修では、専門職を講師に迎え、排痰補助装置の活用方法や緊急時対応について体験的に学びました。事例協議を通して、急変時の対応や安全な支援について確認しました。摂食指導研修では、咀嚼や嚥下の仕組みを学び、体験を交えながら安全な摂食指導のポイントを確認しました。

(3) 災害時組織訓練

大災害を想定し、救護班や設営班、備蓄物資班などに分かれて役割を確認しました。対応の流れをシミュレーションし、備蓄物品の点検を行うことで、いざという時に落ち着いて対応できる体制づくりにつなげました。

研修の視点	主な内容	子供たちへのつながり
授業づくり	ICT・AT の活用、実践の共有	一人一人の学びを支え、広げる授業へ
医療的ケア・摂食指導	専門職からの講義、体験的な演習	安全で安心な学校生活と学習参加へ
防災・安全	災害時の役割確認、備蓄物品の点検	いざという時に落ち着いて対応できる体制へ

写真① ICT・AT 活用

写真② 医療的ケア研修

写真③ 防災・安全訓練



実践を共有し、学びを深めました。



専門職から学び、安全な支援を確認しました。



災害時の役割と備えを確認しました。

校長 鈴木 愛

中学部の活動紹介

★グループ間交流

中学部では、日ごろ別で学習をするグループ同士がレクリエーション活動などを通してお互いを知り、仲を深める交流活動を行っています。「みんなが一緒に楽しめる活動って何だろう？」を考えながら、話し合ったり、アンケートをとったりして企画をしました。「魚釣りゲーム」「イントロ歌当てクイズ」「ポッチャ」など様々なレクリエーション活動で大いに盛り上がりました。



★地域清掃

小平市で行っている清掃活動、「小平クリーン作戦」に中学部は全グループで参加しました。学校周辺の公園を日替わりで巡り、トング片手にゴミを集めました。一見きれいな公園も、よく見ると植え込みの奥にはペットボトルやお菓子の包み紙などが落ちていました。実際に現場を訪れてみないと分からないゴミ事情。貴重な学びの機会となりました。



★生徒会活動（あいさつ運動・大掃除）

6月の1週目に、あいさつ運動を行いました。毎朝、登校する児童生徒に向かって大きな声で「おはようございます！」のあいさつをしました。相手の友達からも大きな声や笑顔が返ってくると、お互いに気持ちよく一日をスタートさせることができました。

大掃除は、1学期の最後に生徒会から学部呼び掛けて行いました。掃除機や廊下の雑巾がけなど、慣れない道具や身体の動きに苦戦していましたが、最後まで集中して取り組んでいました。「最初よりも床や壁がピカピカになっているよ」と口に出す生徒もいて、皆で協力して取り組んだ成果に達成感を得ることができました。

